

熊本・津奈木町で、町と MINAMATA をめぐるアート・プログラム

映画公開で再注目されるユージン・スミスの写真展をはじめ
石牟礼道子の水俣文学に着想を得た柳幸典による住民参加アートも

〈 つなぎまちのアート・プログラム 〉

熊本県津奈木町では、つなぎ美術館の開館 20 周年を記念して、9月11日(土)から11月23日(火・祝)まで、町の様々なスポットでアート・プログラムを開催予定です。

熊本県南部の葦北郡にある津奈木町は、海と山に囲まれた人口約 4,500 人の小さな町です。水俣市と隣接するこの町では、かつて町民の多くが水俣病の被害を受けました。町はアートによる地域住民の癒しと再生を目指して 1980 年代から様々な文化活動を重ね、2001 年にはその拠点として「つなぎ美術館」が誕生します。以来、津奈木町では美術館を中心に“住民参画型アート”を重視した様々なアート・プログラムを行うほか、2013 年からはアーティストによる滞在制作受け入れを開始し、町民とともに多くの作品をかたちにしてきました。

そしてこの秋、美術館の開館 20 周年を迎えるにあたり、全国的に注目度が高まる MINAMATA にまつわるアート・プログラムをはじめ、様々な企画を展開します。

【つなぎまちのアート：2021年秋のプログラム】 2021年9月11日(土)～11月23日(火・祝)

- ① 映画公開で再注目を集める 『ユージン・スミスとアイリーン・スミスが見た MINAMATA 』展
- ② 石から彼方の声が聞こえてくる〈石霊の森〉 『柳幸典つなぎプロジェクト成果展 2021 Beyond the Epilogue』
- ③ 陸と無人島を赤い糸でつなぐアートプロジェクトや、現地アーティストとめぐるアート体験ツアーも

① 『ユージン・スミスとアイリーン・スミスが見た MINAMATA』展



W・ユージン・スミス



アイリーン M・スミス



石川武志

1970 年代に水俣病を取材し世界に伝えた米国人写真家、ユージン・スミスの写真展です。ユージン・スミスとその作品群は、ジョニー・デップ主演で今秋公開される映画『MINAMATA-ミナマタ-』でも再び注目を集めています。

アリゾナ大学クリエイティブ写真センター (Center for Creative Photography) 等の協力を得て、写真集『MINAMATA』に収められた写真をはじめ、当時の地域の日常をとらえた貴重な初公開写真もアイリーン・スミス監修のもと新たにプリントし、展示します。

W・ユージン・スミス（写真家）

1918年アメリカ生まれ。第二次世界大戦中にサイパン、沖縄、硫黄島などヘカメランとして従軍し日本軍の迫撃弾で重傷を負った。1970年にニューヨークでアイリーンと出会い翌年に結婚。1971年から3年間、水俣市に居を構えて水俣病の取材を行い1975年にアメリカで刊行した写真集「MINAMATA」は世界で大きな反響を呼んだ。晩年はアメリカのアリゾナ大学で教鞭をとっていたが1978年に死去。

期 間： 2021年9月11日（土）～11月23日（火）
会 場： つなぎ美術館 1階展示室（熊本県葦北郡津奈木町岩城494）
観覧料： 一般300円（250円） 高校・大学生200円（150円） 小・中学生100円（50円）
詳 細： つなぎ美術館ホームページ <https://www.town.tsunagi.lg.jp/Museum/page3230.html>
※ 関連イベントのアーティストトークやライブ等の詳細は、上記ホームページからご確認ください

② 『柳幸典つなぎプロジェクト成果展 2021 Beyond the Epilogue』

津柳
奈典
木典

YANAGI Yukinori
Tsunagi Project
2019 2020 2021

つなぎ美術館開館20周年記念



《石霊の森》2021年

2019年より世界を舞台に活躍する現代美術家の柳幸典（やなぎ・ゆきのり）が、地域との対話を重ねて進められた住民参加型アート・プロジェクト「柳幸典つなぎプロジェクト」の成果展を開催します。水俣病の現実を世界に知らしめた石牟礼道子の文学から着想を得て制作された大規模な屋外作品『石霊の森（いしだまのもり）』は、津奈木町役場向かいの森に設置された巨石群から石牟礼の言葉が聴こえてくるアート作品です。またプロジェクトの3年間の歩みを紹介する企画展『柳幸典つなぎプロジェクト 2019-2021』も美術館にて同時開催されます。



撮影：桑嶋維

柳 幸典（現代美術家）

1959年福岡県生まれ。1990年代初頭より政治的、社会的問題に作品制作を通じて取り組む。2008年には瀬戸内海の犬島の銅の精錬所跡で、日本の近代化へ継承をならした三島由紀夫をモチーフとした美術作品「犬島精錬所美術館」を完成させる。同じ瀬戸内海の百島では廃校を拠点としたアートプロジェクト「ART BASE 百島」のディレクターも務める。

期 間： 2021年9月11日（土）～11月23日（火）
会 場： （石霊の森）津奈木町役場向い /（企画展）つなぎ美術館 3階展示室
観覧料： （石霊の森）100円 /（企画展）無料
詳 細： つなぎ美術館ホームページ <https://www.town.tsunagi.lg.jp/Museum/page3235.html>
※ 関連イベントのアーティストトーク等の詳細は、上記ホームページからご確認ください

③ 陸と無人島を赤い糸でつなぐアート・プロジェクトや 現地アーティストによるアート体験ツアーも



〈海渡り〉のアイデアスケッチ(2019年)



五十嵐靖晃



アート体験ツアー



大平由香理

アーティスト・五十嵐靖晃による町民参加の屋外展示『海渡り』では、特異なロケーションにある無人島の弁天島と陸を“つなぎ”ます。そして九州のトラベル・デザイン・ファームの(株)UNA ラボラトリーズが手がけるツアーでは、〈アーティスト・イン・レジデンスつなぎ〉をきっかけに移住した日本画家・大平由香理によるアート体験ツアーも実施予定です。

屋外展示『海渡り』

期 間： 2021年10月中旬～10月末 に実施予定
会 場： 旧赤崎小学校付近（熊本県葦北郡津奈木町 福浜 165）
観覧料： 無料
詳 細： つなぎ美術館ホームページにて 近日詳細発表予定

日本画家・大平由香理によるアート体験ツアー

期 間： 2021年秋、募集開始予定
内 容： 大平由香理によるスケッチ体験、現地の石や砂を使った岩絵の具による日本画体験などのツアー
詳 細： 株式会社 UNA ラボラトリーズ <https://unalabs.jp/tourism/> ※近日詳細発表予定

アートが社会に実装された町： 津奈木町



▶ 住民と企画段階から一緒につくる「住民参画型アートプロジェクト」を10年以上継続

過疎地で高齢者が多い津奈木町では、単に作品を美術館や町へ一方的に展示するのではなく、町民と企画の段階から一緒に考えて作り上げる「住民参画型アートプロジェクト」を実施。町民の日常へ馴染むかたちで、美術や芸術へ親しみを抱かせるプログラム運営を続けている。

▶ 現地で開催されるアートプロジェクトが、人々の根源的な「つながり」への欲求へ応える

【赤崎水曜日郵便局（2013～2016）】 閉校となった小学校の校舎を郵便局に見立てて実施された「赤崎水曜日郵便局」プロジェクト。全国から“水曜日の出来事”が綴られた手紙が集まり、名前を伏せて無作為に送付者同士に交換、転送する。見知らぬどこかの誰かに想いを馳せる詩的なプロジェクトは、コミュニティに活力を与えた。

▶ アートにまつわる活動が、町民へ新しい視点を提示し、他者との融和を図る一助として機能している

【アーティスト・イン・レジデンスつなぎ（2013～継続中）】国内外で活躍する美術作家による滞在制作活動を継続することで、それまで閉鎖的だった町民が、他所からやってきた作家を歓迎できるようになるまで、価値観の変化が生まれている。

2021年の〈つなぎまちのアート・プログラム〉各イベント詳細をまとめた
特設ページは9月初旬に津奈木町役場ホームページ内に開設予定です。

<https://www.town.tsunagi.lg.jp/>

本件に関するお問い合わせ

〈つなぎまちのアートプログラム〉プレス 担当

[TEL] 090-6420-1140 (三好)、080-3985-1778 (古田)

[E-mail] press@tsunagi-artprogram.jp

津奈木町役場 (熊本県葦北郡津奈木町大字小津奈木 2123 番地) <https://www.town.tsunagi.lg.jp/>

つなぎ美術館 (熊本県葦北郡津奈木町岩城 494) <https://www.town.tsunagi.lg.jp/Museum/>